

こども相談センター

一時保護所
平成23年度採用(社会人経験者)

ニックネーム | にっしー

- 主な業務
- ・児童の生活支援
 - ・児童の行動観察
 - ・スーパービジョン
 - ・勤務シフトの管理

好きな言葉 | 自他共栄
(少林寺拳法の基本理念のひとつ)



児童福祉を志し転職 チームの支えで成長する日々

進路を模索する中、福祉の道を選択。民間団体で地域福祉やこどもと関わるうちに児童福祉への思いが強まり、福祉職員を志望しました。最初の区役所では訪問や記録に追われる毎日でしたが、前職の経験が支えに。チームの助けがあったからこそ乗り越えられたと思います。

笑顔に励みに こどもの気持ちに寄り添う

こども青少年局を経てこども相談センターへ。24時間体制の一時保護所で、「こどもが心を開いてくれる初めての大人になろう」という思いで向き合う中で、見せてくれる笑顔が何よりの励みです。現在は児童指導員へのスーパービジョンを担当し、こどもたちの安心のために力を注いでいます。

キャリアマップ

年度	主な出来事
平成23年度	入庁。F区役所の生活保護担当に配属され、上司、先輩に厳しくもやさしく育ててもらいながらケースワーカーとして、訪問や面接などの業務に従事。
平成27年度	選挙業務を兼務。他職種の職員の方と働くことで、さまざまな刺激を受けることができた。その間、自身の業務をフォローしてくれたチームの仲間感謝。
平成30年度	初めての異動で本庁へ。これまで経験したことのない業務内容に戸惑いと緊張の連続だった。周囲の先輩方に支えてもらい、何とか乗り越えた経験は財産。
令和2年度	こども相談センターの一時保護所へ異動。コロナ禍で試行錯誤の児童支援。シフト勤務で平日に休みがあり、こどもの幼稚園の送迎ができる。
令和5年度	係長へ昇任。現在は、それぞれの職場で活躍している同期にお祝いをしてもらったことがうれしかった。記念にもらったペンは宝物(写真参照)!
令和6年度	一時保護所のSVとなる。日々、新たな気づきがあり、まだまだ勉強中。より良い児童支援に向けて取り組んでいる。

本庁

福祉局・障がい福祉サービス担当
平成22年度採用(新卒)

ニックネーム | U

- 主な業務
- ・障がい福祉サービスの制度運用
 - ・予算編成
 - ・制度改正対応
 - ・問い合わせ対応

好きな言葉 | 一日一善



経験を生かし、制度の効果的な運用を考える

仲間を支えられ、区役所の生活保護担当での対人援助や、本庁での事業企画等を経験しました。現在は障がい福祉サービスの制度運用を担当。複雑な制度をかみ砕いて伝えることで、「よくわかりました」と言ってもらえた瞬間にやりがいを感じます。市の仕組みを動かす業務に責任感を持って取り組んでいます。

周囲の助けに支えられ 大規模な式典運営を達成

心に残っているのは、民生委員の記念式典の運営。大きな会場を借り、物品発注や進行表の作成など準備は数カ月及び、本当に大変でした。それでも仲間を支えられて乗り越えた経験は大きな財産に。大会後に飲んだビールは格別でした。仲間と共に、今後も新しい挑戦を続けたいです。

キャリアマップ

年度	主な出来事
平成22年度	入庁。G区役所に配属され、先輩や同僚の助けのもと、生活保護ケースワーカーとして家庭訪問・面接などの業務に励む。
平成25年度	仕事のスケジュールを調整し、夏季休暇を利用して1週間のトルコ旅行へ。リフレッシュできたのはもちろん、一生の思い出になる。
平成28年度	メンターに挑戦。メンティである新規採用職員との交流を通して、先輩職員である自分の方が色々なことを学べた気がする。
平成29年度	初めての異動で本庁へ。福祉局で民生委員の担当に。新しい環境と業務に戸惑い、失敗ばかりだったけれど、ここでも周囲の人たちにたくさん助けてもらう。
令和2年度	精神保健福祉士の資格取得をめざし、専門学校(通信制)へ入学。仕事をしながら勉強をして課題を提出するのは想像以上に大変だったけれど、それでもなんとか修了し国家試験にも合格。
令和3年度	係長へ昇任。福祉局内で障がい福祉サービスの担当へ異動し、再びこれまでと全く違う業務の担当となり悪戦苦闘の毎日を過ごす中、ここでも周囲に助けられる。

【よくあるご質問

大阪市の福祉職員として働くうえで、疑問や気になることに先輩がお答えします!】

Q1

職場の雰囲気はどんな感じ?

同じ想いや目的を持って、和気あいあいと助け合っています。上司や先輩も気さくな人が多く、相談しやすいです。(採用3年目)



Q2

仕事とプライベートとのバランスは?

週1のノー残業デーや有給休暇を活用してプライベートを満喫!大阪市ではイクボス宣言を行い、ワーク・ライフ・バランスを推進しており、子育てや介護などの休暇制度も活用しやすいです。(採用19年目)

Q3

残業や休日出勤はあるの?

残業は時期や配属先により異なります。イベントで休日に出勤することもあります。こども相談センターの一時保護所は、土日祝、夜間も含めてシフト制の勤務です。(採用9年目)



Q4

仕事で大変なことは?

異動で転職かと思うほど業務内容が変わることもありますが、その分成長できます。(採用15年目)
突発的・緊急的な事態で苦慮することもあります。力を合わせて乗り切った後の充実感は格別です。(採用6年目)

Q5

配属希望を伝えられる?

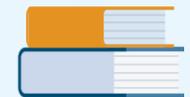
毎年、希望を上司に伝える面談があります。必ず叶うわけではありませんが、やりたい業務にチャレンジできる制度もあります。(採用13年目)



Q6

受験に必要な資格は?

「大学卒程度社会福祉」の受験には「社会福祉主事任用資格」(採用予定日までに取得する見込みの方を含む)が必要です。その他は大阪市HPをご確認ください。



Q7

働きながら資格取得はできる?

働きながら、社会福祉士や精神保健福祉士などの資格を取得する職員、夜間に大学院に通学する職員もいます。(採用5年目)



Q8

大阪市の福祉職員でよかったことは?

多様な地域課題を抱える自治体だから経験できることも多く成長できます。区役所での市民生活に密着した相談業務等を経験し、本庁での事業の企画・立案業務に生かすこともできます。(採用12年目)

Q9

行政の福祉をめざしたのはなぜ?

市民の暮らしを守るための制度や仕組みなど、福祉基盤の整備に携わることができ、虐待対応やセーフティネットの役割を果たす行政の仕事にやりがいを感じたから。安定した雇用、福利厚生の充実も魅力です。(採用7年目)

Q10

福祉職員として大切にしていることは?

市民や職員、すべての方々との信頼関係と、そこから得た人とのつながりを大切にしています。(採用30年目)
相手の立場に立って考えること、感情をコントロールすること、主訴をしっかり理解することかな。(採用17年目)

Q11

面接や対応は初めから一人?

はじめは先輩が窓口対応や家庭訪問に同席する等して教えてくれます。支援の方向性などはチームや組織で判断していく仕組みがあるので、一人で抱え込むことはありません。(採用2年目)



Q12

学生時代(または入庁前)に勉強しておく良いことは?

大阪で働くうえで必要な知識は入庁後に学べます。続けられる趣味を見つけておくのはおすすめです。どんなことでも一生懸命取り組んだ経験は、仕事にも役立ちます。(採用18年目)

